

問 救急医療情報キットで
安心安全を

答 有効な施策として検討



西本 諭

問

私は、市当局に2つの施策を提案して、安心安全のまちづくりを推進したいと考えます。1つはジェネリック医薬品の普及・推進であります。今後増え続ける医療費に対して、少しでも抑える方法として大変有効と考えます。そこで具体的には「ジェネリック医薬品お願いいカード」の作成による推進であります。患者は医師に口頭で伝えることなく、カードの表示で意思表示ができます。

市長

医師と患者の信頼関係を配慮しながら、関係者と協議し、普及に取り組んでいく。



相生市が配布している
緊急医療情報キット

病院部長

病院経営の上からは有効です。医師や薬局の理解を得ながら検討していきたい。

問

高齢者や障がい者、健康不安のある人に安心安全を確保するための医療情報キットを各家庭の冷蔵庫に保管し活用推進を。

市長

緊急時、災害時に有効な施策と捉えて前向きに検討するが、情報を更新するなどの課題を検討する必要があります。

健康福祉部長

有効な施策と考え、課題を解消していきたい。

消防長

緊急情報システムとの併用により大変有効な施策であると考えます。

市長

2つの提案とも実行しうる有効な施策であると考え、課題等を解消するべく検討を重ねていきたい。

問 太陽光発電の補助を

答 一定の検討を
していきたい



秋田 裕三

問

木質バイオ発電の実証実験が終了したが十分に発電しないならその実験は中止して、その予算を太陽光発電の補助事業に廻すのがよいと思う。近隣の姫路市、相生市、豊岡市では既に始まっている。建築関係の助けにもなるし、21世紀には木質バイオ発電より理にあっていく。木材センターでペレットチップの生産をしたらどうか。

市長

太陽光発電も一定の検討をして参りたい。

問

衛生部の事業に基本的な処理計画が明文化されたものがありますか。ないからさまざまな管理で不祥事の原因になつ

たのではないか。

生活環境部長

生活排水処理基本計画はあります。

市長

それが起因しているとは考え難い。

問

法律に沿った一般廃棄物処理計画は。

生活環境部長

できていない。

市長

指示をしています。

問

し尿券問題は服務規程に沿って早期解決を、また民事上の解決を図ってもらいたい。

市長

同感です。

生活環境部長

公務員としてえりを正して誠心誠意努めたい。

副市長

疑惑の解明と損害賠償も含めて検討されているので、その指示・指揮に従いたい。



一宮市民局の
ペレットストーブ